

提出された議案等

令和5年6月定例会では議案38件が提出され、いずれも原案のとおり可決、承認または同意されました。

- 予算議案2件
 - ・令和5年度福岡県一般会計補正予算(第1号)
 - ・令和5年度福岡県一般会計補正予算(第2号)
- 条例議案12件
 - ・災害派遣手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県税条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・過疎地域及び離島振興対策実施地域に対する福岡県税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・地域経済牽引事業の促進のための福岡県税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県建築都市関係手数料条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県屋外広告物条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県警察関係手数料条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る信号機等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 専決処分したものについて報告し、承認を求める議案1件
 - ・福岡県税条例等の一部を改正する条例の制定について
- 工事請負契約の締結に関する議案15件
- その他の議案4件
 - ・公立大学法人九州歯科大学定款の一部変更について など
- 人事に関する議案4件
 - ・副知事の選任について など

可決された意見書・決議、採択された請願

- 可決された意見書
 - 畜産・酪農に係る経営安定のための対策を求める意見書
 - カーボンニュートラルの実現に向けた林業・木材産業の成長産業化に関する意見書
 - 自動車関係諸税に係る抜本的な見直しに対する意見書
 - 私学助成の拡充に関する意見書
- 可決された決議
 - 空港・交通インフラ調査特別委員会設置に関する決議
 - 子育て支援・人財育成調査特別委員会設置に関する決議
 - 再生可能エネルギー等調査特別委員会設置に関する決議
 - 国際化・多文化共生社会調査特別委員会設置に関する決議
 - ワンヘルス・地方分権等調査特別委員会設置に関する決議
 - スポーツ立県調査特別委員会設置に関する決議
- 採択された請願
 - 私立小・中・高等学校への助成制度の拡充等に関する請願

代表質問を終えて

自民党県議団

冒頭、当面する県政の重要課題として、物価高騰対策について問い、服部誠太郎知事から依然として先行きが不透明の中、県民の生活や中小企業等をしつかりと支えていくための補正予算を編成しているとの答弁がありました。

次に、新型コロナウイルスの5類変更後の医療提供体制について質し、インフルエンザ同様に幅広い医療機関が対応する事になるため、入院医療体制、外来医療体制、入院調整など円滑に行えるよう支援してまいるとの答弁がありました。

ワンヘルスを担う人材の育成については、多様な関係者が知識や技術を持ち寄り連携して取り組む必要があり、今後、専門人材の育成に向け大学の協力を得ながら、具体的に検討してまいるとのことでした。

また、園芸農業先端技術開発センターについて質し、本県農業の主力である施設園芸のさらなる高品質・高収量・省力化につなげる先端技術の開発に研究を集中するための研究拠点として考えており、園芸農業の主産地であり、農業関連企業が集積している「筑後地区」を有力な候補地として考えているとの答弁がありました。

その他、生成AIの活用について、福岡県出産・子育て安心基金、地域公共交通の維持・確保、賃上げに伴う価格転嫁、流域治水、外来生物問題、教員不足とカスタマーハラスメントについて等、知事より前向きな答弁をいただきました。

民主県政県議団

服部誠太郎知事は、物価高騰対策として所得の壁の見直しを国に働きかける、中小企業の価格転嫁と賃上げ実現に取り組むとされ、スポーツにおけるジェンダー平等実現へ県内スポーツ団体の女性理事の増を図り、アスリート盗撮対策を行うと答弁され、行政への行き過ぎたクレーム（カスハラ）に対し、知事は体制の整備と企業セミナーを開催する、教育長は学校教育を通じて人権を尊重する意識等の育成に努めると発言されました。

福岡空港を運営する福岡国際空港株の大株主である県は、新たな路線展開、空港の利便性向上に取り組みでいくとされました。生成AIの利用にあたっては課題を踏まえ有効かつ安全な活用を検討する、また新たな感染症が今後発生した場合、新型コロナウイルス感染症対策で得られた知見に基づき医療提供体制を整備すると表明されました。

外国人労働者の雇用のため「福岡県外国人材受入対策協議会」が実践的な役割を担えるように取り組む、豪雨対策の一つとして各家庭に貯留タンク設置の普及啓発を進め、また県の防災アプリ「ふくおか防災ナビ」まもるくん」の登録を県民に働きかけると答弁されました。また、世界水泳福岡大会は県民に夢や希望を与えるもので、県として大規模スポーツ大会の誘致に努めるとの発言を得ました。

毎年三百人前後となっている小中学校の教員の早期退職防止のため、先輩教員の支援、休職教員への復職支援、更に日常的な健康管理やメンタルヘルス対策を行うと教育長が発言されました。

公明党

改選後初の定例会で公明党の代表質問に立ちました。まず、福岡県の人口減少と徹底した少子化対策は喫緊の課題ととらえ服部誠太郎知事の思い切った子育て支援を質しました。

さらに、福岡県の事業を「見える化」し効果的に見直すために現在の単式簿記・現金主義会計から東京都が始めた複式簿記・発生主義会計の導入を問いました。そして脱炭素の主役であり、本県のリーディング産業になりえる「水素」について問い、知事から本県が進める水素の製造、貯蔵、運搬、利用について、北九州響灘臨海部の拠点化、グリーン水素の輸入、人材の育成等水素社会実現に前向きな答弁がありました。

次に県民の健康・医療について会派独自調査を基に質問。調査の結果「ひとり親の健康意識が低く、喫煙、飲酒の率が高いことから子育て相談の際に「親」の健康管理も行うよう提案しました。

また、予防できる「子宮頸がん」「肝がん」「胃がん」の対策について質しました。

次に4月から自転車用ヘルメットの着用が全年齢に努力義務となったことから自転車利用のルール遵守の対策、ヘルメット購入への助成など知事、教育長にお聞きしました。

次に本県の深刻な教員不足と長時間労働についてその対策を教育長に質しました。

また、私達は長野県に行き「通信制高校サポート校等就学支援事業補助金」を参考に質問しましたが、知事は、慎重に行うという答弁でした。最後に警察本部長にニセ電話対策と、青パトなどへの警察の犯罪情報提供を提案し前向きな答弁を頂きました。

新政会

先の選挙の結果を受け、我が会派は5人で「新政会福岡県議団」を結成してスタートすることになりました。今日の社会は、コロナ禍やウクライナ問題、人口減少・少子高齢化や財政問題、地球規模の環境問題など課題は山積し、将来の不安が高まっています。この困難な時代を乗り越えていくためには、世代間に不平等や格差を生まず、若い若きも活躍できる社会づくりが重要です。しっかりと取り組むとともに均衡ある県土の発展を目指し、会派一丸となって精進する決意を申し上げ、県政全般について今回の代表質問に臨みました。

服部誠太郎知事の政治姿勢では、物価高騰対策や新型コロナウイルス対策の今後とゼロゼロ融資の資金繰り支援などについて質しました。物価高騰対策について知事からは、「今議会、約160億円の物価高騰対策補正予算を提案。今後9月議会にも追加配分を検討中。さらには、下半期については臨時交付金の追加配分を国に求める」旨の答弁がありました。また、出産子育て支援についての事業と仕組みについての質問に対して、知事からは、「出産・子育て安心基金」を活用し「病児保育利用料の無償化」及び「先進医療による不妊治療費の助成」などに加え、県独自の施策を機動的に実施する」旨が示されました。

その他にもChat GPTをはじめとする生成AIの活用や外国人労働者の住民税の納付漏れ対策、統一地方選投票率の向上、所有者不明土地の現状と今後市町村への支援について質しました。

また、特定外来生物の防除計画の策定状況や大学入学共通テストへの対応や警察問題についても取り上げました。